



特集
P.2-5

家族のかたち

知ってほしい！里親制度のこと

たくさんの



PICK UP!

P.6

小学6年生・中学3年生を対象に実施
令和5(2023)年度全国学力・学習状況調査結果

P.10-11

令和4(2022)年度の状況を報告
一般会計の決算状況とまちの通信簿

電子版(抜粋版)も配信中!



15言語での表示・音声読み上げ
Multilingual(15 languages)

たくさんの家族のかたち

特集

養育里親

↓
工藤さん夫妻の場合

里子とか実の子とかにこだわらず、

「家族」という意識で生活をしています

これまでに数多くの里子を受け入れ、現在も大学生2人、高校生2人の里子を養育している工藤誠一さん、恭子さん夫妻。また、同居する工藤さんの息子さん夫妻も実子に加えて2人の里子を受け入れておられる大家族です。「最初は一緒にご飯を食べられない里子もあり、部屋の前にご飯を置いておくこともありまして」と恭子さん。「子どもから見ても、いきなり親と言われて受け入れるのは難しいからね」と誠一さんも話します。

血の数のような細かい違いも子どもたちは見ていますから。家族同然に、平等に接する。そんな経験が子どもたちにとって、急ぐことなくじっくり待つことも必要なのです。そんな夫妻には忘れられない出来事があります。それは里子を迎えて災害ボランティアで熊本へ行ったときのこと。「普段はものも言わない子が、床の下まで入って必死に泥をかき出して……。感動

のあまり泣いてしまいました」と誠一さん。以来、自宅でも食器を洗うなど手伝いをするが増えたそう。「思いやり、助け合いの心で接し続けたことが、ボランティアの経験で花開いたような気がします」。

家族のかたちは一つではない

一つではない

「将来家族と思ってもらえるようになれば養子縁組するかもありません。里子とか実の子とかにこだわらず、家族という意識で生活しています」。



里子をお交えた、息子さん家族の団らん風景

10月は里親月間です。さまざまな事情により家族と離れて暮らす子どもを自分の家庭に迎え入れて養育する、里親制度。制度について理解を深めませんか。

1003120 児童相談所設置準備 担当 ☎6423-7008 📠6409-4297

印象に残っていること

- 里子として迎え入れられたのが施設等のような管理された環境でなく、あくまで一般家庭であったこと
- オーディションに合格して、ピッコロ劇団のミュージカルに出演したこと



里子の子どもたちからの声

一部の方にアンケートにご協力いただきました

今までうれしかったこと

- 今までしたことのないことをしたとき。特に宝塚歌劇を観に行ったこと
- 学校の資格検定で1級を取れたこと。去年、久しぶりにおばあちゃんの家に1泊2日で行けたこと
- 家族で浅草や東京スカイツリーに行ったこと



ほかにもこんな声がある

「本当のお父さんとお母さんのように優しく温かく見守って下さり、楽しく過ごすことができ嬉しく思っています」「体に気を付けて元気で長生きしてください。これからは旅行など色々な所に行きたいです」「根幹的な家族への認識の相違によって100%里親を信頼できていないが、そんな自分に対しても家族として接して下さることに感謝している」などの声がありました。



知ってほしい!

まだまだ多くの里親が必要

さまざまな事情により保護者から適切な養育を受けられない子どもを社会全体で育てることを「社会的養護」といいます。市内で、施設や里親など社会的養護の下で生活している子どもは、令和5(2023)年3月31日時点で1666人いますが、里親と暮らしているのはそのうち32人です。本市では48世帯が里親登録をしていますが、まだまだ多くの子どもが里親を必要としています。

そうした現状の中、本市では令和8(2026)年度に児童相談所を開設します。それに伴い、里親制度に関連する業務も県から市に移管されるため、社会的養護の一つである里親制度のさらなる周知・啓発など、子どもに対する切れ目のない継続した支援の実施を目指していきます。

市内の里親登録は

48世帯





里親のことを知りたくなったら

STEP

まずはこちらから

説明会に参加

本市では、阪神南地区里親会と連携して説明会を行っています。里親制度の説明のほか、実際に里親をしている人の体験談の講話や交流会などを行っています。

CHECK

みんな笑顔になれる繋がり
知ってほしい里親のこと

☎1035069

▷11月1日(水)午後1時30分～3時、大庄北▷11月2日(木)午前10時～正午、園田東—生涯学習プラザで。いずれも☎10月25日までに電話かファクス・Eメール(住所、氏名(ふりがな)、電話番号、参加希望日を書いて)で児童相談所設置準備担当 ☎6423-7008 FAX 6409-4297。



説明会に参加して

リアルな声を聞き、
前向きな気持ちに

里親をされている方から直接お話が聞けると知って説明会に参加。お話をしてくれた里親のお二人は、年齢も家族構成も里親になるきっかけもそれぞれ違って、里親世帯にも血縁の家族同様の多様性があることを実感できました。その後の里親登録のための研修では、実際に施設で暮らす子どもと一緒に過ごすなど、子どもについて多くのことを学ぶことができ、里親になることに対して前向きな気持ちになりました。

昨年の説明会に参加した足立さん



里親制度の
いろいろ

里親にはさまざまなかたちがあります

養育里親

家族と一緒に暮らせない子どもを一定期間自分の家庭に迎え入れて養育します

専門里親

養育里親のうち、必要な研修を受講し、特別な支援が必要な子どもを養育します

養子縁組里親

養子縁組によって子どもの養親となります(戸籍上の親子関係が成立します)

親族里親

死亡などにより実親が養育できない子どもを祖父母など親族が養育します

子どもの特性や、里親の希望などに合わせて

さまざまな種類があります。

実際に里親になった方々の声をご紹介します



STEP 具体的な手続きを知りたい時は

2 こども家庭センターに相談

里親についてのさらに具体的な相談や、里親になるための申請手続きは兵庫県尼崎こども家庭センターで行っています。

☎兵庫県尼崎こども家庭センター
☎4950-5001
FAX 6491-3300



STEP

里親になりたい!と決めたら

3 研修を受講し、里親登録

講義や施設実習などの研修を受講し、県知事による認定を受けると、里親として登録することができます。



里親になった後の不安やお悩みのサポートも行っています!

こども家とキャンディでは、里親希望者を増やす取り組みや里親と子どもをつなぐためのお手伝い、里親家庭への訪問を行っています。電話やEメールなどによる相談も受け付けています。またキャンディでは里親向けの勉強会や交流会を開催し、子どもを迎えるまでの不安などもお聞きしています。

児童養護施設 子供の家



里親専用ダイヤル
☎7410-6502 FAX 6498-3444
若王寺3丁目16-3

児童家庭支援センター キャンディ



☎6491-1811 FAX 6491-1861
若王寺3丁目16-3

子供の家
里親支援専門相談員
石田さん



養子縁組里親 → 高原さん夫妻の場合

夫婦ともに子どもが大好きでしたが、なかなか子宝に恵まれず、それでもいつかは……と考えていた時にインターネットで里親のことを知りました。そうした経緯もあり、当初から養子縁組を希望していました。親になって感じたのは私たちが親にしてくれた息子への感謝。そして、子育ての大変さを実感する中で、自分たちの両親への感謝の気持ちも湧いてきました。家族になるために血のつながりは関係ありません。この子が来てくれてから毎日本当に幸せです!

家族に
血のつながりは
関係ありません



短期間で子どもを預かる

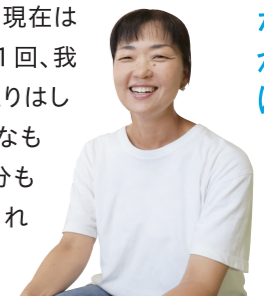
里親もいます

季節・週末里親

施設で暮らしている子どもを、夏季・冬季の数日間や週末などに家庭に迎え入れて、一緒に過ごします

週末里親 → 永田さんの場合

自分の子育てでは、親の考えを押し付けすぎたのではという後悔がありました。子育てがひと段落した今なら、余裕を持って子どもに接することができるのではと思ったことが、週末里親を始めたきっかけです。現在は4歳の男の子を受け入れており、毎月1回、我が家に来てくれます。特別に甘やかしたりはしません。家庭で過ごすというのはどんなものなのかを知って、大きくなったら自分も家族を持ちたいと感じるようになってくれればうれしいですね。



家庭での過ごし方を
知る機会になれば

